

【情報公開文書(オプトアウト文書)】

# ダットスキャン及び脳血流シンチグラフィを 受けた患者さんへ 研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

## 1. 研究の対象

2014 年 4 月～2023 年 11 月にダットスキャン及び脳血流シンチグラフィを受けられた方

## 2. 研究の概要

研究課題名     ダットスキャン、パーヒューザミンを用いたパーキンソン病、多系統萎縮症、および進行性核上性麻痺の病態解明

研究期間       承認日             ～             2024 年 3 月 31 日

目標数         全体 60 例

本研究では、パーキンソン病及び多系統萎縮症、進行性核上性麻痺などのパーキンソン症候群の患者さんで撮像した、ダットスキャン及び脳血流シンチグラフィの所見を用いて、パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺の病態を詳細に検討します。

## 3. 研究の目的・方法について

パーキンソン病、多系統萎縮症、及び進行性核上性麻痺はパーキンソン症状を呈しますが、その脳内病理は全く異なっていることが知られています。治療法においても、パーキンソン病ではハネムーン期と呼ばれる抗パーキンソン病薬の効果が得られやすい期間がある一方で、多系統萎縮症や進行性核上性麻痺では抗パーキンソン病薬の効果は限定的です。

ダットスキャンでは、パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺のいずれの疾患も線条体への集積が低下しますが、集積の程度や集積パターンがそれぞれの疾患で異なる可能性が指摘されています。

脳血流シンチグラフィにおいても、パーキンソン病、多系統萎縮症、及び進行性核上性麻痺でそれぞれ特徴的な血流低下を認めることから、脳血流シンチグラフィは各疾患の認知機能低下の病態に関連した所見を呈する可能性があります。

本研究では、パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺の病態について、各患者さんのダットスキャン及び脳血流シンチグラフィの所見から詳細に検討することを目的とします。

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療の際に得た情報を使用します。

情報 脳血流シンチグラフィ/ダットスキャンの検査所見、性別、年齢、神経所見、認知機能検査結果、

## 5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された試料・情報は、外部へ提供することはありません。

## 6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理され、研究事務局に提出されますが、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

## 7. 研究組織

金沢大学における研究実施体制

|       |     |       |       |        |
|-------|-----|-------|-------|--------|
| 研究責任者 | 医学系 | 脳神経内科 | 教授    | 小野 賢二郎 |
| 研究分担者 | 医学系 | 脳神経内科 | 准教授   | 篠原 もえ子 |
| 研究分担者 | 医学系 | 脳神経内科 | 特任准教授 | 小松 潤史  |

## 8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は、日本メジフィジックス株式会社からの資金援助にて行います。また、この研究には、この研究において研究の対象となるダットスキャン、パービューザミンを製造販売している会社との間に利害関係がある者が参加します。この研究の研究担当者は、金沢大学**または各研究機関**の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。また、学会発表は論文の公表にあたっては、資金について公表し研究の透明化を図ります。

## 9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2023年12月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

## 10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者 金沢大学脳神経内科 教授 小野 賢二郎

相談窓口担当者 金沢大学脳神経内科 准教授 篠原 もえ子

住所 〒920-8640 金沢市宝町 13 番 1 号

電話 076-265-2000 (内線2292)